

## 9. HIV感染症/エイズ治療のいま

早期に治療を始め、継続することが大切です

### HIV感染症/エイズの医療は進歩しています

HIV感染症/エイズの医療は飛躍的な進歩を続けていますが、いまのところ、体内のHIVを完全に取り除く治療法はありません。しかし、抗HIV療法の進歩によって、早期にHIV感染を知り、適切な治療を継続すれば、エイズの発症を防いで、感染していない人と同じくらい長く、健康的な社会生活を送ることができるようになりました。

HIV感染症の治療では、作用の異なる3剤以上の抗HIV薬を併用して服薬します。これをART (Anti Retroviral Therapy) と呼びます。ARTを行うことにより、体内のウイルス量を抑え、免疫力を回復させることができます。ARTが導入されたのは1997年ですが、現在は新しい薬が増え、1日1錠の服薬です

む薬も多数開発されています。副作用も以前より軽くなり、患者さんへの負担も軽減しています。ただし、薬を飲んだり飲まなかったりして中途半端な服薬を続けると薬の効きにくい薬剤耐性ウイルスが出現する可能性があります。そのため、治療を開始したら、特別な場合を除き、継続する必要があります。

ARTを継続し、体内のウイルス量が大きく減少すれば、HIVに感染している人から他の人への感染リスクをゼロに近いレベルまで下げることができます。ARTという「治療」がHIV感染を食い止める「予防」でもあるのです。自分のためにも、他の人への感染を防ぐためにも、治療は早期に開始し、継続することが大切です。

### U=Uというメッセージ

効果的な抗HIV療法を受けて、血液中のHIVの量が検出限界値未満に抑えられているHIV陽性者からは、性行為によって他の人にHIVが感染することはありません。このことをUndetectable (検出限界値未

満) = Untransmittable (感染しない) といいます。

U=Uは、「予防としての治療」という考え方をさらに進めた、エイズに関する差別や偏見をなくすためのメッセージです。

### 治療は専門の医療機関で

全国に約380のエイズ治療拠点病院が整備されており、治療や相談に応じています。HIVに感染すると継続的な

通院・治療が必要になるので、自分にとって通いやすい病院を選ぶことも大切です。

拠点病院診療案内 <https://hiv-hospital.jp/>



### HIV感染者への福祉サービス

ARTによるHIV感染症/エイズの治療は、健康保険を利用しても、月々の自己負担が6万円前後かかるほか、治療は一生涯必要です。ただし、日本では患者さんが治療を継続していく上での経済的負担を軽くするために利用できる

社会制度が整っています。

医療費や制度の利用について知りたいこと、心配なことがあれば、医療ソーシャルワーカーなどにお問い合わせください。保健所でも相談を受け付けています。

### インターネットによる情報提供

#### ● エイズ予防情報ネット

HIV/エイズに関する正しい知識のほか、HIV検査情報サーチ、サポート団体 (NGO) 情報などエイズに関するさまざまな情報を提供しています。

<https://api-net.jfap.or.jp/>

